
小山町地域公共交通計画

小山町地域公共交通会議

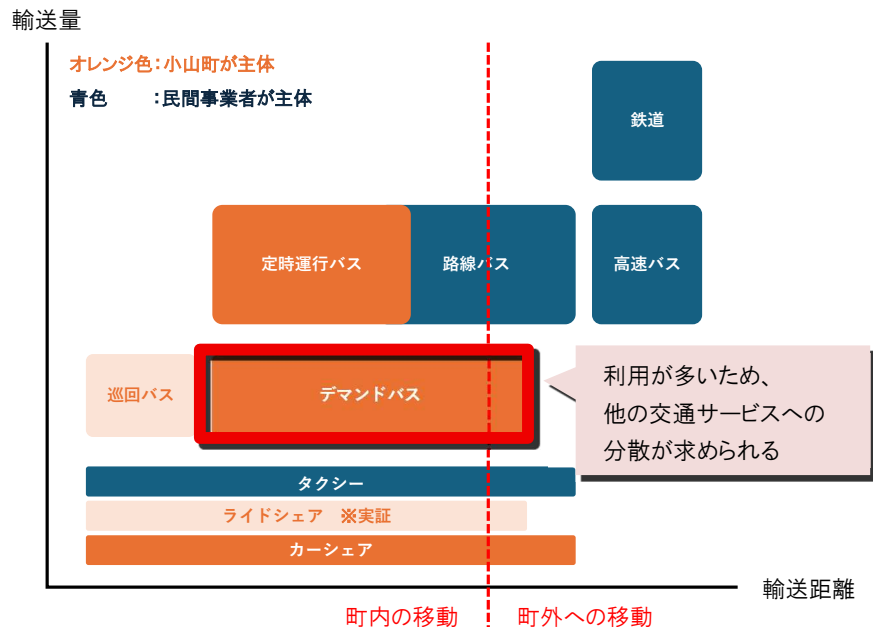
令和 8 年 3 月

令和 8 年 6 月改定

＜公共交通同士の役割分担・連携強化＞

小山町では、これまで公共交通に対する積極的な投資を行っており、多様な公共交通サービスが提供されています。これらの公共交通サービスを組み合わせて利用することができる環境を整えることで、より充実した公共交通環境になると考えます。

デマンドバスにおいては、利用が増加傾向にあり、予約が取れない時間帯が生じているため、その他の交通サービスへの利用の分散などが求められます。



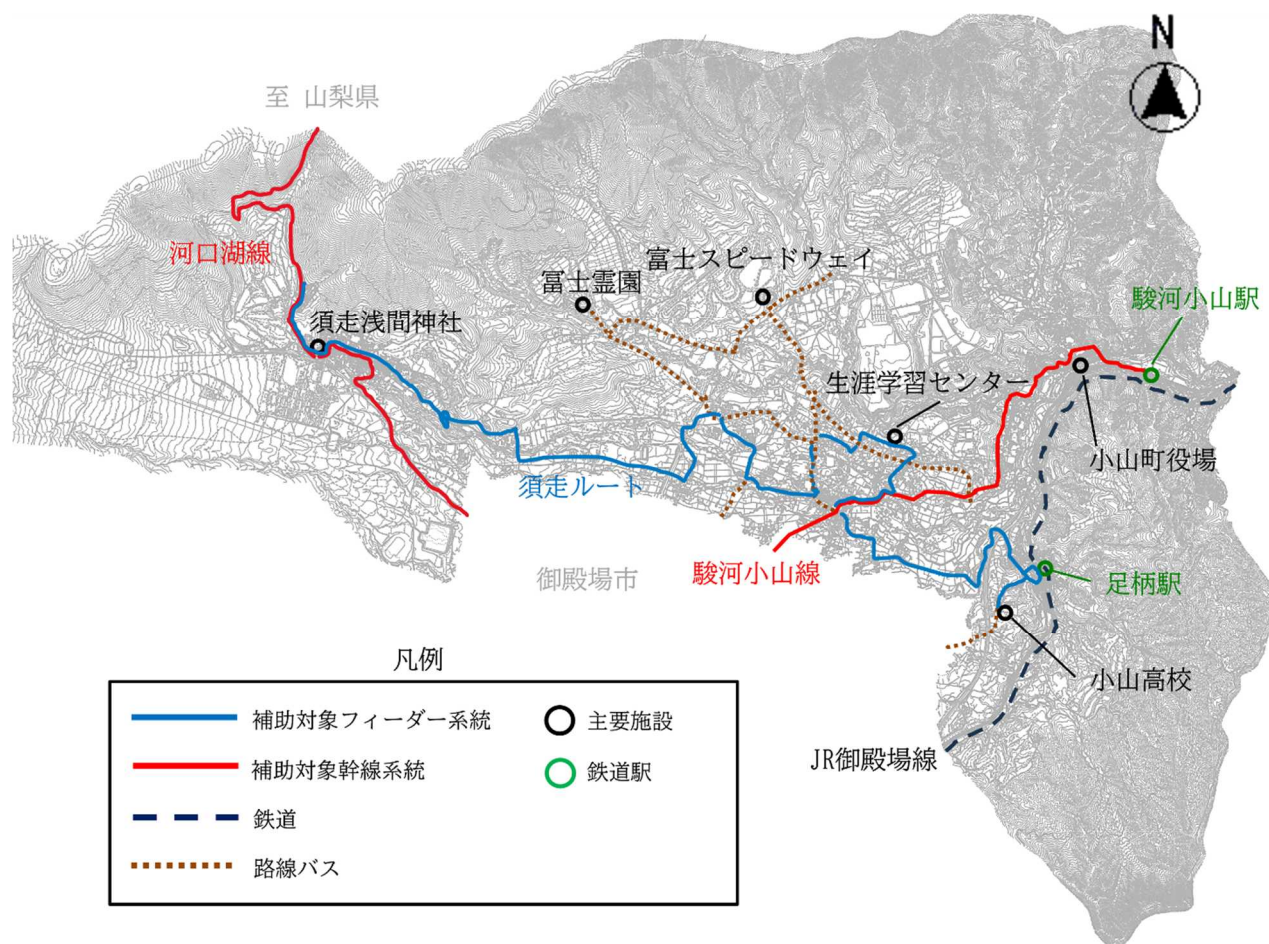
交通モード	路線名	運行区間・区域
鉄道	JR 御殿場線	国府津～駿河小山駅～沼津駅
高速バス	—	小山町～東京方面 小山町～静岡・名古屋方面など
路線バス	河口湖線	河口湖駅～御殿場駅
	小山高校線	小山高校～御殿場駅
	駿河小山線	駿河小山駅～御殿場駅 佐野川～御殿場駅 一色～御殿場駅
	富士霊園線	富士霊園～御殿場駅
	中日向線	上野～御殿場駅
	富士学校線	富士学校～御殿場駅
コミュニティバス (定時運行バス)	須走ルート	紅富台～小山高校
	足柄ルート	向桑木～小山中学校 小山中学校～小山高校 小山高校～役場前
コミュニティバス (デマンドバス)	—	町内全域・御殿場市の一部
タクシー	町内事業者 1 社	町内全域
カーシェア	Toyota Car Share	足柄駅前: 1 台
巡回バス	成美ルート	各地区～ 生涯学習センター
	明倫ルート	
	足柄ルート	
	須走ルート	
ライドシェア ※実証運行	—	町内・御殿場市全域

1. 補助対象系統

地域内幹線の駿河小山線は、駿河小山駅と御殿場駅を結び、通勤・通学、買物や通院等の日常生活に必要な交通手段としての役割を担っています。また、河口湖線は、御殿場駅と山梨県富士河口湖町を結ぶ路線であり、通勤・通学、買物や通院等の日常生活に必要な交通手段に加え、富士山周辺の観光を目的とした移動を担っています。

両系統共に、各市町の拠点を結ぶ路線となっており、公共交通ネットワークを構築する上で特に重要な路線となっています。一方で事業者の運営努力のみでは路線維持が難しいため、地域公共交通確保維持事業により、運行を確保・維持する必要があります。

支線系統の須走ルートは町内の東西、~~足柄ルートは南北~~に伸びており、公共施設や学校、病院等の生活必需施設を連絡する路線で地域の移動手段としての役割を担っています。須走ルートでは駿河小山線「佐野川」、河口湖線「須走浅間神社」と、~~足柄ルートでは駿河小山線「小山町健康福祉会館」「小山役場前」と~~接続することで広域移動を可能とし、地域内幹線系統を補完する欠かせない路線ですが、自治体の運営努力のみでは路線の維持が難しいため、地域公共交通確保維持事業により、運行を確保・維持する必要があります。



位置付け	系統	役割	確保・維持策
地域内幹線	駿河小山線 (赤系統)	駿河小山駅を拠点として御殿場市の拠点と連絡する	地域公共交通確保維持事業（幹線補助）を活用し、交通事業者と協議の上、安定的な運行を確保する。
	河口湖線 (赤系統)	須走地区から山梨県富士河口湖町及び御殿場市の拠点と連絡する	
支線	須走ルート (朝・夕) (青系統)	町内地域を運行し、軸となる幹線や駅、公共施設に接続する	地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）を活用し、交通事業者と協議し、持続可能な運行を確保する。
	足柄ルート (夕) (緑系統)		

系統名	起点	経由地	終点	事業許可区分	運行形態	事業主体	補助事業の活用
駿河小山線	御殿場駅	小山町健康福祉会館	駿河小山駅	4条乗合	路線定期運行	富士急モビリティ(株)	幹線補助
河口湖線		須走浅間神社	富士山駅	4条乗合			
須走ルート	紅富士台入口	須走浅間神社	小山高校	4条乗合		小山町(運行は富士急モビリティ(株))	フィーダー補助
足柄ルート	小山高校	小山町健康福祉会館	小山役場前	4条乗合			